

○計画期間：平成29年12月～平成35年3月（5年4月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成29年度終了時点（平成30年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成29年11月28日に第2期中心市街地活性化基本計画の認定を受け、「また来たくなるまち ずっと居たいまち」という基本コンセプトのもと、「歩きたくなるまちづくり」「活力あるまちづくり」「みんなが主役のまちづくり」「住み続けたいまちづくり」の4つの基本方針に基づき、多様な事業を展開している。

認定から4ヶ月という中では、直接的な効果は表れていないが、まちなかの賑わいづくりの拠点施設2件が平成30年3月末に整備を完了したことで、今後大きな集客が期待される。

一つが「かみのやま温泉観光案内所」（平成30年3月30日駅前観光情報・交流施設から名称変更）である。インバウンドに対応した情報発信や観光案内の拠点となる施設であり、上山城や武家屋敷等の観光施設のソフト事業の充実などにより、交流人口の拡大が期待される。

一つが「二日町プラザ」（平成30年4月1日ショッピングプラザカミンから名称変更）である。カミン再生整備事業により、1階に総合子どもセンター「めんごりあ」を整備するなど多世代が交流する拠点施設としてグランドオープンする。5階には既存施設である図書館、2階には、主に高校生が活動するボランティア活動スペースや学習スペースを新設、高齢者サロン「まじゃれ」をリニューアルする。館内での多世代交流はもとより、施設利用者と周辺商店街との連携事業も計画されており、まちなかの賑わい創出が期待される。

これらの拠点施設の整備を機に、商店街の商業機能の強化による経済活力の向上や、空き家等の活用、市営バスの運行サービスの向上など、まちなかの居住環境の改善を図りながら、官民一体となって本計画に基づく事業を着実に実施することにより、中心市街地活性化を推進していく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（中心市街地地域）	平成28年度 （計画期間開始前年度）	平成29年度 （フォローアップ年度）
人口	3,960	3,831
人口増減数	-75	-129
社会増減数	-34	-41
転入者数	96	96

3月31日基準日

2. 平成29年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

計画の認定から4ヶ月ということもあり、全体的に、まだ事業効果が表れているとは判断できないものの、平成30年3月に二日町プラザやかみのやま温泉観光案内所の整備が完了したことにより、今後、施設への大きな集客が見込まれ、周辺の賑わい創出に資するものと大きな期待を寄せている。この機を確実に捉え、関係機関や商店街等と連携して、その集客を周辺商店街等ま

ちなかへ回遊させる取組を強力に推進して行く必要がある。

また、不足業種等の新規出店をまちなかへ誘導する取組については、実績としてはまだないものの、新しく整備した施設や空き店舗等を活用した新規創業がすでに複数見込まれていることから、引き続き、新規創業を支援しながら賑わい創出を図っていただきたい。

目標値である「市全体人口に対する中心市街地人口割合」については、想定よりも減少率が大きくなっているため、各種住宅支援事業により子育て世代等のまちなか居住を促しながら住みやすい居住環境を整備し、人口減少対策に取り組む必要がある。

今後とも、官民一体となり、中心市街地活性化基本計画の目標達成に向けた取組を、総合的に推進していただきたい。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
また来たくなるまち	回遊ルートの歩行者通行量(平日+休日)の平均	1,034人 (H27)	1,106人 (H34)	1,477人 (H29) 【参考値】	—	①
活力あふれるまち	商店街の歩行者・自転車通行量(平日+休日)の平均	1,562人 (H27)	1,671人 (H34)	2,358人 (H29) 【参考値】	—	①
	中心市街地内の新規出店数(計画期間)	11店 (H24~ H28)	15店 (H29~ H34)	0店 (H29)	—	①
みんなで創る住みよいまち	市民活動等施設利用者数(年間)	38,192人 (H28)	77,000人 (H34)	41,397人 (H29)	—	①
	市全体人口に対する中心市街地人口割合(%)	12.71% (H28)	12.76% (H34)	12.46% (H29)	—	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

①「回遊ルートの歩行者通行量(平日+休日)の平均」について

最新値は、平成29年9月に実施した調査の結果であるため、計画認定前の参考値である。各事業の進捗状況は概ね順調であり、駅前に新たに整備し、大きな集客が見

込まれるかみのやま温泉観光案内所を拠点に、駅前と上山城や武家屋敷などの観光施設を結び、まちなかウォーキングの推進やまち歩きマップの活用などにより回遊性を高めることで、目標達成が見込まれる。

② 「商店街の歩行者・自転車通行量（平日＋休日）の平均」について

最新値は、平成29年9月に実施した調査の結果であるため、計画認定前の参考値である。各事業の進捗状況は概ね順調であり、二日町プラザがまちなかの多世代交流拠点施設として再生整備され、大きな集客が見込まれるため、今後、図書館と周辺商店街が連携した割引サービスやマルシェの実施など商店街との連携により、その集客を周辺に波及させる取組を進めていく。併せて、店舗の改修や新商品開発等に係る各種支援制度を活用して個店の魅力向上を図り、商業機能を強化することが来街者の増加につながるため、目標達成が見込まれる。

③ 「中心市街地内の新規出店数（計画期間）」について

各事業の進捗状況は概ね順調であり、平成29年度の計画期間4ヶ月に限れば実際の新規創業件数はないものの、かみのやま温泉観光案内所や二日町プラザなど新しい施設整備に伴う新規出店や、新規創業に関する相談がすでに数件ある。今後、それらの新規創業が見込まれることから、引き続き、空き店舗の活用や若者の創業を支援するための補助制度などを活用し新規創業者をまちなかへ誘導することで、目標達成が見込まれる。

④ 「市民活動等施設利用者数（年間）」について

事業の進捗状況は概ね順調であり、平成29年度における施設利用者数については、子育て支援施設、高齢者サロン、中部地区公民館の合計値が41,397人となり、推計値33,680人に対して順調に推移している。また、カミン再生整備が完了したことにより、子育て支援施設や高齢者サロン、図書館などが連携した事業を行うとともに、各既存施設も主催事業の充実など魅力向上が図られる取組を行うことにより、今後、相乗効果で大きな集客が見込まれることから、目標達成が見込まれる。

⑤ 「市全体人口に対する中心市街地人口割合（％）」について

市全体・中心市街地どちらも人口減少が続いているが、中心市街地の人口減少の内容を見ると、社会減少よりも自然減少の割合が高く、市全体人口に対する中心市街地人口割合が想定よりも減少している。すまいまちづくり公社等との連携による空き家を活用した子育て世代向けの住宅整備が進められており、今後地域優良賃貸住宅の建設が予定されるなど、若い世代のまちなかへの誘導が期待できる。また、新たに整備された子育て支援施設や日曜・祝日も市内を循環する市営バスの運行が予定されるなど、居住環境の改善による住みやすいまちづくりの推進により、目標達成が見込まれる。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

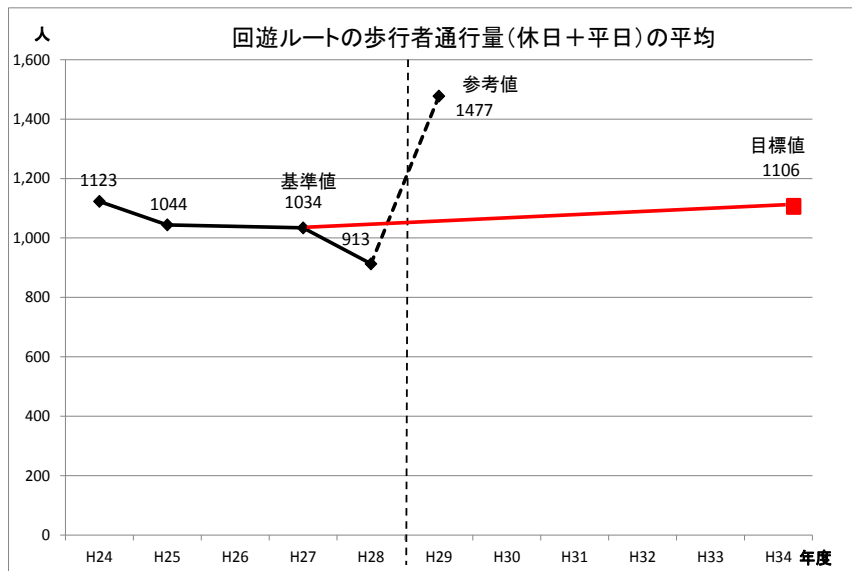
前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「回遊ルートの歩行者通行量（平日+休日）の平均」

※目標設定の考え方基本計画 P76～P82 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H27	1,034 (基準年値)
H29	1,477 (参考値)
H30	
H31	
H32	
H33	
H34	1,106 (目標値)

※調査方法：回遊ルートの歩行者通行量調査（毎年9月第1週の平日・休日に4地点において8時～19時で計測）

※調査月：平成29年9月

※調査主体：上山市中心市街地活性化協議会

※調査対象：回遊ルート4地点（かみのやま温泉駅前、旧ミヨシヤ前、旧トキワ館前、武家屋敷前）における歩行者の通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 駅前観光情報・交流施設整備事業（上山市）

事業完了時期	平成29年度【済】
事業概要	駅前にインバウンドに対応した観光案内や、甲冑等の着用体験・交流、地元特産品の物販等を行う観光情報交流施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成30年3月に施設整備が完了した。今後、施設には大きな集客が見込まれ、その観光客等が駅前から上山城や武家屋敷等へ回遊することによって、賑わい創出に資するものと期待される。平成34年度には利用者を26,000人と推計している。

②. 上山城保全整備事業（上山市）

事業完了時期	平成30年度【実施中】
事業概要	上山城の老朽化した瓦屋根や外装等の改修工事による外観整備を実施する。
事業効果及び進捗状況	平成29年12月から屋根瓦や外装等の改修工事に着手し、工事は順調に進行しており、平成31年3月に完成を予定している。

③. 上山城活性化事業（（公財）上山城郷土資料館）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	歴史・文化等をテーマにした企画展示会、体験事業（甲冑着用、模擬刀剣に触れる、居合、チャンバラ合戦等）、館内案内の充実、宿泊施設と連携した教育旅行や高速道路整備による北関東からの団体バス旅行の誘致
事業効果及び進捗状況	企画展示会やプレミアムフライデーの取組などにより集客を図ってきたが、平成29年度の入館者実績は、推計値52,000人に対して48,024人となっている。屋根瓦等の改修工事の影響で想定よりも入館者が減少しているが、平成31年3月の改修工事完了後は、体験型ソフト事業等の展開により入館者の増加を目指し、平成34年度には58,600人を見込んでいる。

④. 武家屋敷・旧曾我部家活用事業（上山市）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	住民参加による管理体制を構築し、一般公開のみならず、桜フェスや雛祭り等イベントでの活用、就学児童を対象とした寺子屋事業の拠点、上山城との事業連携による誘客を進めながら歴史的建造物の利用促進を図る。
事業効果及び進捗状況	イベントや寺子屋事業などの各種事業の拠点として利活用が図られており、平成29年度の利用実績は13,629人となっている。推計値の13,873人よりは減少しているが、平成28年度実績の13,477人よりも増えているため概ね順調に推移している。平成34年度には16,096人の利用者数を見込んでいる。

⑤. 上山型温泉クアオルト構想事業①（まちなかウォーキング推進事業）（上山市温泉クアオルト協議会）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	上山城周辺の回遊ルートを活かし、気候性地形療法による健康ウォーキングや、商店街での様々な体験等を実施するまちなかウォーキングを推進する。
事業効果及び進捗状況	上山城周辺の回遊ルートを活かし、商店街と連携しながら、まちなかウォーキングを実施した。平成29年度の実施回数は109回で1,764人が参加しており、1回当たりの平均参加者数は16人である。平成34年度には、1回当たり16.5人の平均参加者数を見込んでいる。

⑥. まち歩きマップ作成・活用事業（かみのやま温泉商店街振興会等）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	商店街の紹介、観光施設、地域資源（神社・仏閣、公衆浴場等）、駐車場の情報等を入れ込み、クーポンを付けたまち歩きマップを作成し、施設や各店舗で設置・配布するとともに、まちなかウォーキング等で活用する。
事業効果及び進捗状況	まち歩きマップの作成スケジュール等について検討した。平成30年度にマップの作成・配布を予定しており、その後マップを活用して商店街等の魅力を発信することによって、回遊性の向上につながり、まちなかのにぎわい創出が図られるものと期待される。平成34年度には、18人の歩行者通行量の増加を見込んでいる。

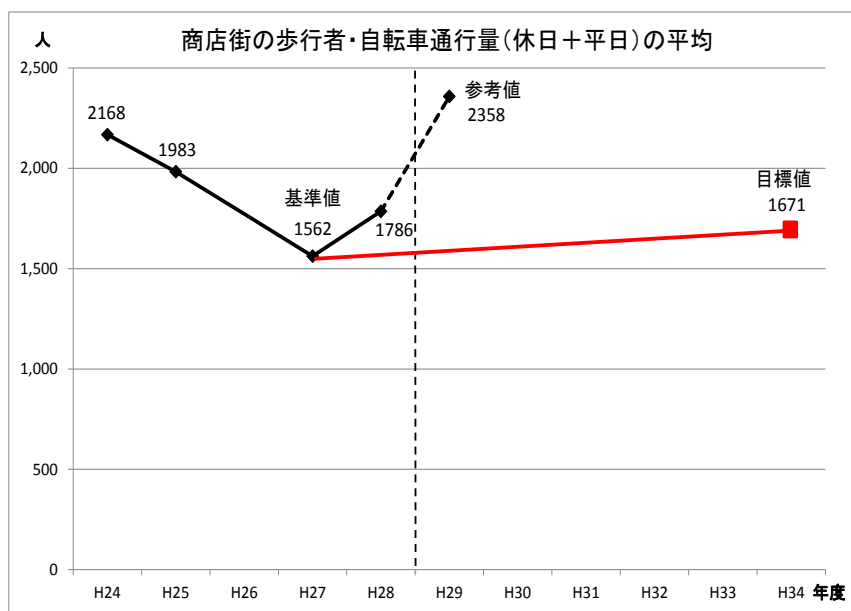
●目標達成の見通し及び今後の対策

各事業の進捗状況は概ね順調であり、かみのやま温泉観光案内所の整備や上山城の屋根瓦等の改修工事により施設の魅力が向上することで、大きな集客が期待される。今後、まちなかウォーキングの推進、まち歩きマップの活用など施設の集客を周辺に波及させる取組により、回遊性を高め交流人口の拡大を図り、目標達成を目指す。

「商店街の歩行者・自転車通行量（平日＋休日）の平均」

※目標設定の考え方基本計画 P82～P89 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H27	1,562 (基準年値)
H29	2,358 (参考値)
H30	
H31	
H32	
H33	
H34	1,671 (目標値)

※調査方法：商店街の歩行者・自転車通行量調査（毎年9月第1週の平日・休日に4地点において8時～19時で計測）

※調査月：平成29年9月

※調査主体：上山市中心市街地活性化協議会

※調査対象：商店街の4地点（カミン前、やぐら前、石崎A1前、矢来三丁目）における歩行者・自転車の通行量

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. カミン再生整備事業①（子育て支援施設整備事業）（上山市）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	カミン1階旧商業フロアにおいて、0歳から小学生までが遊べる屋内遊び場や遊具等を有する子育て支援施設を整備し、子ども・子育て世代の交流拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成30年3月に、本市初となる屋内遊び場や、子どもが楽しめる遊具を設置した。また、一時預かりやファミリー・サポート・センターを充実するなど総合的な子育て支援施設として整備した。移設前の平成29年度の利用者数は13,000人の推計値に対して13,097人であった。整備後は大きな集客が見込まれ、マルシェなど周辺商店街等との連携による賑わい創出が期待される。平成34年度には46,200人の利用者数を見込んでいる。

②. カミン再生整備事業②（高齢者サロン整備事業）（上山二日町再開発(株)、上山市）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	カミン2階旧商業フロアにおいて、高齢者が気軽に集い活動できる高齢者サロンを整備し、高齢者の交流拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成30年3月に施設整備が完了した。施設改修中は、カミン内の大会議室を代替えとして実施したところ、利用者数は7,894人となった。平成28年度の11,862人よりも減少したものの、推計値の7,680人を上回っているため、概ね順調である。今後、カミン内に子育て支援施設等が整備されたことにより、多世代との交流とさらなる集客が期待される。平成34年度には18,260人の利用者数を見込んでいる。

③. カミン再生整備事業③（ボランティアサークル活動拠点整備事業）
（上山二日町再開発(株)）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	カミン2階旧商業フロアにおいて、学生を中心とするボランティアサークルの活動拠点を整備し、若い世代の交流拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成30年3月に学生を中心とするボランティアサークルの活動拠点の整備が完了した。1日当たりの利用者数は1.5人を見込んでおり、今後、若い世代の集客とカミン内施設での多世代との交流、学生と周辺商店街との連携が期待され、賑わい創出が見込まれる。

④. 中部地区公民館活用事業（上山市）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	主催事業（一般講座、レクリエーション、高齢者教室）については、地域住民で組織する運営委員会でニーズ調査や実施状況の検証を行い、事業内容の改善や充実を図る。また、公民館だよりの毎月発行、地区会と連携した施設利用の呼びかけを強化しながら、利用促進を図る。
事業効果及び進捗状況	レクリエーションや高齢者教室などの主催事業を随時開催し、利用促進を図った。平成29年度の利用者数は20,406人であり、推計値の13,000人を大きく上回っている。平成34年度には13,500人の利用者数を見込んでいる。

⑤. 電子マネー付ポイントカード導入推進事業（かみのやま温泉商店街振興会）

事業完了時期	平成31年度【実施中】
事業概要	時代にあった利便性の高い新しい電子マネー付ポイントカードを導入する。
事業効果及び進捗状況	商店会等関係者を対象とした電子マネー付ポイントカードのデモ体験会を開催し約30人が参加し、新しい制度への理解を深めるとともに、制度導入に対する意識醸成を図った。平成34年度には、制度導入によって93人の歩行者通行量の増加を見込んでいる。

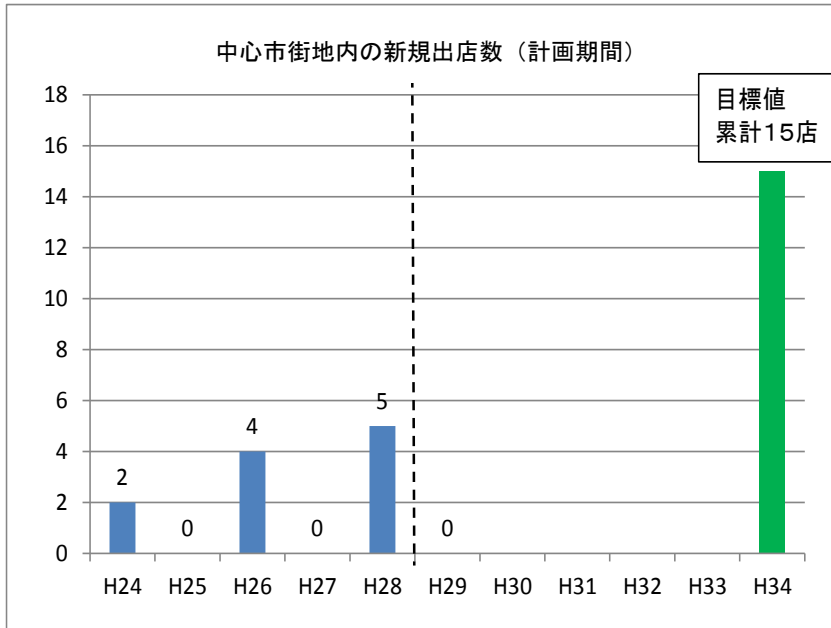
●目標達成の見通し及び今後の対策

各事業の進捗状況は概ね順調であり、新しい施設の整備や既存施設の魅力向上により、大きな集客が期待される。今後は、多世代交流拠点施設である二日町プラザと商店街との連携による賑わい創出事業、マルシェ（出張商店街）や商店街ツアーの実施など、商店街の魅力発信と集客を商店街に波及する取組を官民一体となり強力に推し進める。また、店舗の改修や新商品開発等に係る各種支援制度を活用した個店の魅力向上を図ることによって商業機能を強化し、来街者を増加させて目標達成を目指す。

「中心市街地内の新規出店数（計画期間）」

※目標設定の考え方基本計画 P89～P91 参照

●調査結果の推移



年	(店)
H24	11
～	(基準年値)
H28	
H29	0
H30	
H31	
H32	
H33	
H29	15
～	(目標値)
H34	

※調査方法：毎年商工会等関係者からの聞き取り調査により新規出店数を把握する。

※調査月：平成30年3月

※調査主体：上山市

※調査対象：中心市街地内の新規出店者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 駅前観光情報・交流施設整備事業（上山市）

事業完了時期	平成29年度【済】
事業概要	駅前にインバウンドに対応した観光案内や、甲冑等の着用体験・交流、地元特産品の物販等を行う観光情報交流施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成30年3月に施設整備が完了し、施設内テナント2店のうち、カフェなど2店の新規出店が決定している。

②. カミン再生整備事業⑥（テナントスペース整備事業）（上山二日町再開発(株)）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	カミン2階旧商業フロアにおいて、テナントスペースを整備する。
事業効果及び進捗状況	平成30年3月に施設整備が完了した。計画期間中、1件の新規出店を想定している中で、すでに複数の出店への問い合わせがあるなど、新規出店が見込まれる。

③. 新規創業支援事業（上山市、商工会、山形県産業創造支援センター、山形県よろず支援拠点）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	相談窓口設置等関係機関と連携した創業支援体制を構築し、創業塾等の研修会を実施しながら、新規創業を促す。
事業効果及び進捗状況	上山市創業支援事業計画に基づき、関係機関と連携し、創業に関する相談に対応するとともに、各種補助制度や創業塾等の研修会を実施しながら、新規創業を促した。平成34年度までに、2件の新規出店の増加を見込んでいる。

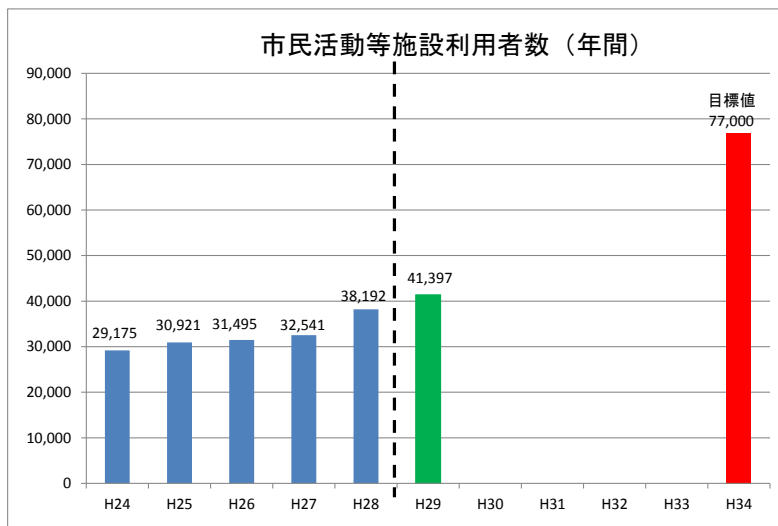
●目標達成の見通し及び今後の対策

各事業の進捗状況は概ね順調で、平成29年度中の新規創業件数はないものの、かみのやま温泉観光案内所や二日町プラザなど新しい施設整備に伴う新規出店や新規創業に関する相談はすでに数件あり、今後、新規創業が見込まれている。引き続き、空き店舗・空き家の活用や若者の創業を支援するための補助制度などにより、新規創業者をまちなかへ誘導することで、目標達成を目指す。

「市民活動等施設利用者数（年間）」

※目標設定の考え方基本計画 P91～P95 参照

●調査結果の推移



年	(人)
H28	38,192 (基準年値)
H29	41,397
H30	
H31	
H32	
H33	
H34	77,000 (目標値)

※調査方法：毎年各市民活動施設からの聞き取り調査により利用者数を把握する。

※調査月：平成30年3月

※調査主体：上山市

※調査対象：子育て支援施設、高齢者サロン、中部地区公民館

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. カミン再生整備事業①（子育て支援施設整備事業）（上山市）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	カミン1階旧商業フロアにおいて、0歳から小学生までが遊べる屋内遊び場や遊具等を有する子育て支援施設を整備し、子ども・子育て世代の交流拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成30年3月に、本市初となる屋内遊び場や、子どもが楽しめる遊具を設置した。また、一時預かりやファミリー・サポート・センターを充実するなど総合的な子育て支援施設として整備した。移設前の平成29年度の利用者数は13,000人の推計値に対して13,097人であった。整備後の集客効果により、平成34年度には46,200人の利用者数を見込んでいる。

②. カミン再生整備事業②（高齢者サロン整備事業）（上山二日町再開発(株)、上山市）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	カミン2階旧商業フロアにおいて、高齢者が気軽に集い活動できる高齢者サロンを整備し、高齢者の交流拡大を図る。
事業効果及び進捗状況	平成30年3月に施設整備が完了した。施設改修中は、カミン内の大会議室を代替えとして実施したところ、利用者数は7,894人となった。平成28年度の11,862人よりも減少したものの、推計値の7,680人を上回っているため、概ね順調である。今後、カミン内に子育て支援施設等が整備されたことにより、多世代との交流とさらなる集客が期待される。平成34年度には18,260人の利用者数を見込んでいる。

③. 中部地区公民館活用事業（上山市）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	主催事業（一般講座、レクレーション、高齢者教室）については、地域住民で組織する運営委員会でニーズ調査や実施状況の検証を行い、事業内容の改善や充実を図る。また、公民館だよりの毎月発行、地区会と連携した施設利用の呼びかけを強化しながら、利用促進を図る。
事業効果及び進捗状況	レクレーションや高齢者教室などの主催事業を随時開催し、利用促進を図った。平成29年度の利用者数は20,406人であり、推計値の13,000人を大きく上回っている。平成34年度には13,500人の利用者数を見込んでいる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

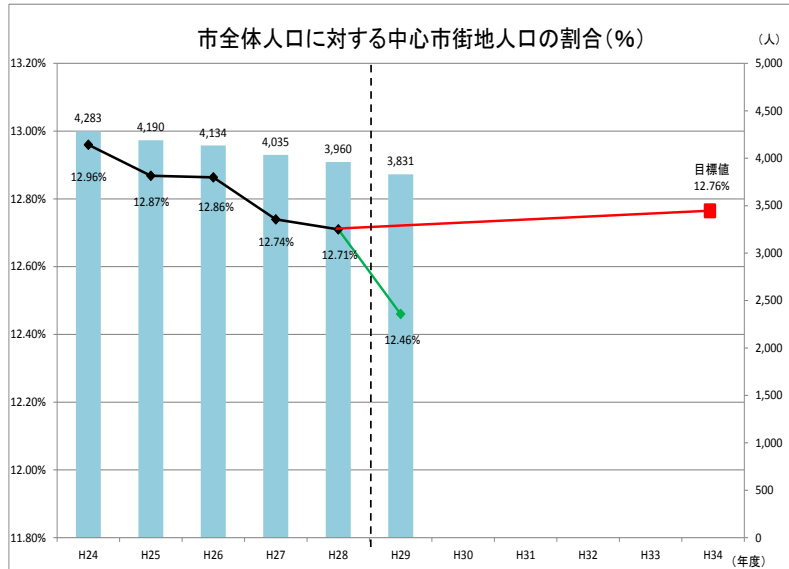
事業の進捗状況は概ね順調であり、利用者数も順調に推移している。新たに、多世代交流拠点施設である二日町プラザが整備されたため、図書館を含めた施設内での各

世代間の交流促進を図るとともに、各施設の主催事業を充実するなど、さらなる魅力向上や集客力アップに向けた取組を進め、目標達成を目指す。

「市全体人口に対する中心市街地人口割合（％）」

※目標設定の考え方基本計画 P95～P97 参照

●調査結果の推移



年	(%)
H28	12.71 (基準年値)
H29	12.46
H30	
H31	
H32	
H33	
H34	12.76 (目標値)

※調査方法：毎年住民基本台帳から市全体人口及び中心市街地人口を把握し割合を算出する。

※調査月：平成30年3月

※調査主体：上山市

※調査対象：市全体人口と中心市街地人口

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 市営住宅建て替え事業（上山市）

事業完了時期	平成34年度【未】
事業概要	中心市街地に市営住宅を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成33～34年度に事業実施を予定しており、整備する場所等について調査・検討中である。整備によって32人の増加を見込んでおり、まちなかの定住人口の確保につながる。

②. 地域優良賃貸住宅建設事業（上山市）

事業完了時期	平成32年度【未】
事業概要	中心市街地に子育て世帯向けの賃貸住宅を整備する。
事業効果及び進捗状況	平成30～32年度に事業実施を予定しており、今後、市が所有する空き家を解体し賃貸住宅の整備を進めて行く。まちなかに子育て世帯向けの賃貸住宅を整備し32人の増加を見込んでおり、特に若い世代のまちなか居住を促すことで、定住人口の確保につながる。

③. 空家等利活用事業（上山市）

事業完了時期	平成34年度【実施中】
事業概要	空き家バンクや各種住宅支援制度を活用し、若い世代のまちなか居住を誘導する。
事業効果及び進捗状況	空き家バンク制度や各種住宅支援制度の活用により、まちなかへの居住を促進した。中心市街地における平成29年度の空き家等の利活用件数は5件であり、目標値である3件を上回っている。平成34年度までには、116人の増加を見込んでいる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

市全体・中心市街地のどちらも人口減少が続いているが、定住人口を増やすための取組として、すまいまちづくり公社等との連携による空き家を活用した子育て世代向けの住宅整備が進められている。今後、地域優良賃貸住宅の建設や日曜・祝日も市内を循環する市営バスの運行が予定されるなど、居住環境の改善による住みやすいまちづくりを推進し、目標達成を目指す。